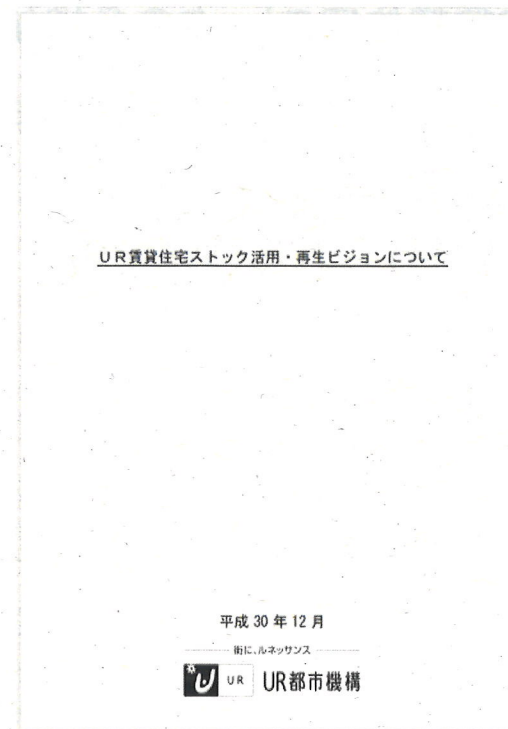


UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョンとは

UR賃貸住宅ストックを将来にわたって国民共有の貴重な地域資源として活かし続けるため、**UR賃貸住宅ストックの多様な活用の方向性**を定めたものです。

UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン

多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちの実現を目指し、地域社会の再生、今まで培われた生活価値・文化の承継、市場環境への適切な対応による「持続可能なまちづくり」を理念として、**居住者の居住の安定を確保しつつ、地域及び団地ごとの特性に応じた多様な活用**を行って参ります。



（参考）UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョンについて
https://www.ur-net.go.jp/chintai_portal/stock/index.html

UR賃貸住宅ストックの多様な活用の3つの視点

UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョンでは、多様な活用に向けて3つの視点を定めています。

多様な世代が安心して 住み続けられる環境整備

地域関係者と連携しながら、少子高齢社会・多様なライフスタイルに対応した住環境を提供します。

持続可能で活力ある 地域・まちづくりの推進

地方公共団体や民間事業者等と連携し、団地の役割・機能の多様化を図るまちづくりを進め、地域の価値と魅力を高めます。

賃貸住宅ストックの 価値向上

既存ストックの有効活用のほか、建替えや改善など様々な手法によりライフスタイルの変化や多様なニーズに応えます。

